



さあ元気に イヤーサッサー (斗賀野中央保育園 花火大会)

さかわ *Sakawa* 議会だより

43
2010.8.1

6月定例会

contents 目次



涼しさの漂う乗台寺

高北病院耐震化へ建て替え 2

ケア付き高齢者住宅建設を(一般質問) 6

フスボリ地区に生活用水を(一般質問) 10

水道未整備地区への対応を(あの質問のゆくえ) 18



いのちを守る拠点に向け、耐震化が始動

6月補正予算 一般会計

1億4281万円

を増額補正

6月定例会は、8日より10日までの会期で開かれました。

平成22年度の補正予算をはじめ、条例改正など議案11件、報告4件、承認4件、同意案1件、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。議員発議による意見書は6件を審議し、5件が可決され、1件が否決されました。

また、第2回臨時会において、高北病院の耐震化に向けての予算案が提出され可決されました。

6月定例会で決まりました

平成22年度6月補正予算

(単位：万円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億4,281	61億9,075
特別会計	国民健康保険	387	18億4,633
	後期高齢者医療	7	1億9,207
	介護保険	△1,054	15億4,370

承認案件

**国民健康保険税
限度額が変更**

国民健康保険税の一世帯当たりの限度額が医療保険分47万円から50万円に、後期高齢者支援金分が12万円から13万円に変更された。

また、解雇や倒産など非自発的理由により離職された人で、一定の要件を満たす場合は前年中の給与所得を30/100に減額し、算定することになった。

人事案件

教育委員

田村 裕子 氏
佐川町中組130番地

条例改正

**町長・副町長の報酬
10分の1
1カ月減額**

固定資産税の課税誤りに対する管理監督責任として、町長、副町長の報酬を1/10、1カ月分減額するもの。
(賛成・全員)

工事請負契約締結

佐川町地域情報通信
基盤整備工事

(契約の方法)
随意契約
(契約金額)
7,665万円
(契約の相手)
株式会社 高知通信機

**6月
補正予算
ピックアップ**

**飲料水供給施設
新設事業
7,200万円**

辺地対策事業として尾川西山地区に飲料水供給施設を設置するもの。
これに伴い事業分担金徴収条例が制定され、受益者から1世帯あたり10万円の分担金を徴収する。

平成22年度
第2回臨時会

7月2日開会

**高北病院耐震化
のため建て替えへ
8,300万円**

高北病院が耐震化に向けて、国・県の補助を受けて建て替える計画。そのための基本・実施設計等を行なうもの。

工事請負契約締結

佐川町立斗賀野小学校
耐震補強

大規模改造工事
(契約の方法)
指名競争入札
(契約金額)
1億4,490万円
(契約の相手)
晃立・大原特定建設
工事共同企業体



耐震工事が始まった斗賀野小学校

議 案 質 疑

新年度予算に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

新規就農支援事業

募集の徹底を

中村議員 新規就農研修整備事業の対象になる人に対して、就農する人の募集は、町内に徹底して募集をかける形になっているのか。

また、どういった人が対象となるのか。

渡辺産業建設課長 新規就農の窓口として、農協、農業改良普及所、役場、農業委員会がそれぞれ会議を持ち、受け付けし協議を行うようになってい

対象は、仕事をやめて

Uターンされた方なども含め、状況に応じて臨機に対応し、広く多数に呼びかけ拡大していかねばと思っています。

新規就農支援

その実績は

森議員 新規就農支援は以前から行われているが、その経過と実績はどうなっているのか。

渡辺産業建設課長 昨年度から始まった事業で1名が就農し、レンタル事業を導入し、ほ場整備完了地にレンタルハウスを作り就農している。

施設費1200万

の身は

片岡議員 新規就農施設費1200万円の中身は。

渡辺産業建設課長 研修ハウスと灌水の設備が800万円。研修所、作業所、農機具置き場の工事が400万円となっている。

有機農業振興法に基づいたものか

坂本議員 平成19年か20年に有機農業振興法というものができ、自治体それぞれに取り組まなければならないというようになっていると思うが、新規就農者で有機農業を行う方は、それに基づいたものか。

渡辺産業建設課長 その規定に基づき、すでに3名の方が率先して実践している。その方を中心に、新規就農支援組織「ソエル」が立ち上がっている。町としてもいっそう支援していきたい。

西山の水供給源 衛生的にどうか

中村議員 尾川西山飲料水供給施設新設事業は、いい事業だが、水の供給地が心配される。川に近いと聞いているが、供給源は衛生的にどうか。

渡辺産業建設課長 西山側の東の方は、比較的良好な谷水がある。指摘のとおり、衛生的に良くない所もあるので、慎重に水源を確保し、地元住民が管理しやすい場所対応したい。

随意契約減らす 方法とるべきだ

中村議員 佐川町地域情報通信基盤整備工事は随意契約となっている。こういう工事があるという公募をする方法が、狭い範囲でやっている感じがする。工業新聞に載せるなど、もうちよつと間口を広げ、随意契約を減らす方法をとるべきだ。

岡林総務課長 この契約については、ホームページと公告掲示板で公示を行った。今後は、法的にどの範囲ができるかを調べ、検討したい。



新規就農者の夢をのせて



待ちに待った水道ができる

意見書

国にもの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

郵政民営化の 抜本的見直しに 関する意見書

(提出者 徳弘初男)

郵便事業、郵便貯金、
簡保生命の3事業を一体
経営とし、効率的事業運
営とし、郵便貯金、簡保
生命の金融についてもユ
ニバーサルサービスを義
務付けること。

また、全国24600
の郵便局ネットワークを
維持し、山間、離島を含
め、公平にサービスを提
供することを強く要望す
る。

(要旨)
(賛成・全員)

安全・安心な国民 生活実現のため、 防災・生活関連予 算の拡充・国土交 通省の地方出先機 関の存続を 求める意見書

(提出者 今橋寿子)

「地方分権」について
は、拙速に結論を出すこ
とを避け、国民生活に対
するメリット、デメリット
などの情報を事前に開
示し、十分議論を経た後
に結論を出し、防災、生
活・環境保全、維持関連
公共事業予算の確保・拡
充を図ること。

現在、直轄で整備・管
理している道路・河川行
政は国の責任を明確に
し、安易な地方整備局・
事務所・出張所の廃止・
地方移譲は行わないこと
を強く要望する。

(要旨)
(賛成・多数)

子ども手当 満額支給の廃止を 求める意見書

(提出者 徳弘初男)

子ども手当は、満額で
あれば防衛費を越える巨
額の支給を要する。恒久
的財源の目途が全くつか
ない状況において、恒久
施策として続けられれば国の
財政は完全に破綻する。
政策目的も不明確であ
り、少子化対策であれば、
第2子、第3子への支援
を強化し、経済的支援な
ら、所得の低い家庭に手
厚い支援をすべきであ
り、給食費や医療費の無
料化、保育サービス、幼
児教育の充実などの施策
をとるべきだ。

効果と目的があいまい
で財源の目途のたない
子ども手当満額支給の廃
止を求める。

(要旨)
(賛成・多数)

選択的夫婦別姓 法案提出について 慎重な対応を 求める意見書

(提出者 岡村統正)

結婚後も夫婦がそれぞ
れ結婚前の姓を称するこ
とを認める制度を導入す
る法案が提出される動き
がある。

夫婦別姓のため、私た
ちの家庭・家族が根底か
ら覆され「家族の維持」
より「個人の利便」が優
先する利己一辺倒の社会
となれば、祖先より子孫
へというつながりを大切
にする精神的伝統は断絶
する。

日本の伝統文化を守
り、国の繁栄と平和な生
活と共栄を願う立場か
ら、国におかれては、
「夫婦・親子同姓」制を
堅持するため、慎重に対
応することを強く要望す
る。

(要旨)
(賛成・多数)

発達障がいや、その 他文字を認識する ことに困難のある 児童生徒のための マルチメディア デジタル教科書の 普及促進を 求める意見書

(提出者 松浦隆起)

教科書と同様のテキス
トと画像を使用し、デジ
タル化し、テキスト文字
に音声シンクロさせて
読むことを可能にした
「マルチメディアデジ
ー教科書」は、活用した
子どもの保護者などから
学習理解が向上したとの
効果が表明され、期待が
高まっている。

現在、デジタル教科書
は無償配布の対象になっ
ておらず、製作もボラン
ティア頼みだ。必要とす
る児童生徒、担当教員等
に安定して配布・提供で
きる体制及び必要な予算
措置を講ずることを要望
する。

(要旨)
(賛成・全員)

本気の体制、必要

町長 全庁的に取り組む

榎並谷町長 観光行政の取り組みは、担当課だけではなく全庁的に取り組む必要がある、そういった形で取り組んでいる。ホームページの活用については、徐々に取り組んでいる。

渡辺産業建設課長 上町に移築予定の名教館を偉人ミュージアムの施設に考えている。

国道はそれなりの通行量があるが町中への入り込みが少ない。国道沿いに拠点的なものが必要だ

松浦 隆起 議員



9人が町政を問う

ここが聞きたい

観光の振興を進める上でインターネットによる情報発信は絶対的条件だ。ホームページなどを十分に活用すべきだ。また、本気で観光の振興を進めるのであれば、本気の体制が必要であり、そのためにも、各課をまたいでの取り組みが必要だ。

また、「偉人ミュージアム」の設置や、佐川町に足を止めてもらうための施設を国道沿いに作っては。

高齢者施策

と考えるが、これから議論する段階だ。

ケア付き高齢者住宅の建設を

町長 何もかも行政でとは難しい

高齢者の方の人口がピークを迎える20年後、そういった先をしっかりと見据え、高齢者の方が、安心して暮らせる住環境づくりを、現時点から総合的に計画すべきだ。介護施設とともに、特にケア付きの高齢者住宅の建設を検討すべきだ。

榎並谷町長 議員指摘の状況であることは、認識している。ただ、財政的にゆとりがあれば、可能だが、何もかも公で、行政ということとは難しい。



多くの観光資源、どう生かせるか

学校教育

ディジー教科書の導入を

教育長 県教委と連携し検討したい

発達障害の生徒が学習理解を深めることに効果があるのが、マルチメディアディジー教科書だ。この文字と音声と映像を組み合わせた教科書により、発達障害の子どもたちの学習意欲が増し、学習理解を向上させる効果が明らかになっている。積極的に導入すべきだ。

川井教育長 一人ひとりに合わせた指導上の工夫として効果的な教材だと考える。県教委と連携しながら、導入と活用について検討したい。教員の研修についても、取り組んでいきたい。



高齢者が安心できる住環境づくりを

佐川高校支援すべき

教育長 中・高連携、重要と認識

教育長に就任し、本町の学校教育の課題をどうとらえているのか。

また、教育委員会行政方針があるが、毎年同じで十分検討した跡が見えない。十分協議すべきだ。

方針の中に中・高連携がうたわれているが、佐川高校の生徒数も減少するなか、連携して支援すべきではないか。

川井教育長 長期的には中学校の統合が課題。メリット、デメリットがある

森 正彦 議員



り、保護者や地域の声を聞き、取り組みたい。短期的には教育内容の充実である。

教育委員会行政方針は形骸化している面があり、来年度は中身を十分精査し、取り組みたい。

佐川高校への入学生確保のためには、中・高連携教育の充実が重要と認識している。



中・高連携教育の充実を

土地開発公社

解散後の宅地開発どう進める

町長 民間業者に期待

土地開発公社の宅地開発により、若者の定住や他地域からの移住に効果を挙げてきた。また、整然とした整備もできてきた。公社が解散した後の宅地開発はどう進めるのか。

榎並谷町長 宅地の分譲については、経済的な背景が変化をした。

需要と供給の関係から、無理があるということ。土地開発公社の運営が非常に問題が出てきて、やむなく解散をした。

今後の宅地開発は民間の業者の活躍に期待したい。宅地は50年、100年の持ち物なので良識のある開発をお願いし、指導していきたい。

高齢者施策

超高齢社会への準備を

健康福祉課長 協働で支えあうシステムを作る

本町も超高齢社会が到来することは確実である。

高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり、その備えを今から積み上げる必要があるが、どのように考え、実行しているのか。

下川健康福祉課長 行政の業務は高齢者の増加で業務量の拡大が進み、予算、人員共に限界に近づいている。改善のためには高齢者福祉計画、介護保険計画、地域福祉計画に基づき、さまざまな組織と連携して協働の力で支えあうシステム作りを住民の皆さまと共に取り組んでいきたい。



宅地開発の方法が問われている

滞納者への取り組みは

滞納整理課長 預貯金等の差し押さえを行う



氏原 義幸 議員

21年度に滞納整理課が設置された。悪質と思われる滞納については強硬な姿勢で対処することであつたが、どう取り組んだか。

氏原滞納整理課長 滞納整理課で取り扱った債権は、211名345件、滞納金額8943万9834円、徴収金額1451万416円。処分の内容は、預貯金、生命保険、自動車登録などの差し押さえを行い、動産の差し押さえについてはインターネット公売

で61件の売却を行った。また、軽自動車のタイヤロックも行っている。

町営住宅

建設に向け、本格的検討を

町長 前向きに検討したい



斗賀野に町営住宅を

斗賀野地区への町営住宅建設の要望を以前から行っていた。今回、部落長やとかの元気村の方々などの協力をいただき入居希望者を募った。建設に向けて本格的な検討を。

榎並谷町長 経済情勢が厳しい中で、若い人たちから安価な住宅の要望をいただいている。有望ないい箇所があれば、安価な建設費でいくような形で前向きに検討したい。実施の段階には、協力をお願いしたい。

低額の施設建設を

町長 大変、消極的

12月議会において旧佐川中跡地に春日荘のような施設の建設を、この質問を行った。今回、委員会の調査で、上郷のサロンの方々との意見交換の中では、多くの方々から低額で入所できる老人ホームの建設をとの声も聞いた。低額で入れる施設を建設すべきだ。

榎並谷町長 財政的にも厳しい面もあるので、即、高齢者向けの安い住宅、その他の施設の設置に向けては大変消極的立場に立っている。必要性についての認識は十分ある。



サロンの皆さんとの意見交換



今橋 寿子 議員

教育行政

本町の課題は

教育長 家庭の教育力を高める

教育長から見た佐川町の教育の課題は何か。特に幼児教育と学校教育の連携及び社会教育、文化推進協議会についての今後の取り組みは。川井教育長 中、長期的課題は中学校の統合問題であり、短期的課題は学力、体力、いじめ、不登

校問題の改善であり、学校教育の充実である。

文化推進協議会の団体数は32団体で、美術展、芸能祭の自主企画、運営をはじめ本町の生涯学習の根幹を成す活動をしていただいている。今後も社会教育全般の重要性を認識し、支援していきたい。

幼児教育においては、基本的な生活習慣が十分身につけていない子どもたちが見受けられる。親の役割の重要性を認識していただき、子育て力の育成に力を入れ、教育の原点である家庭の教育力を高めていく取り組みを町をあげてする必要がある。連携教育は、情報交換を徹底することが必要だ。

高北病院耐震化事業

事務局体制は

病院事務局長 町長部局と協議し対応

病院建物の老朽化が見られ、耐震化に向けた取り組みが課題となっている。耐震化事業ができる事務局体制になっているのか。笹岡病院事務局長 耐震化事業の実施は病院部局だけではできないので、県の建設技術公社や町長部局ともよく協議して対応していく。



高北病院北側の建設予定地

佐川文庫庫舎

今後、どう生かす

産業建設課長 価値ある資源として活用

佐川文庫庫舎（旧青山文庫）を今後どのように生かしていくのか。

渡辺産業建設課長 上町を中心として周遊する際のシンボリックな拠点として、建物そのものを歴史的景観の価値ある資源として活用する。1階は歴史に関するパネルや資料の展示、喫茶コーナー、2階はアートギャラリーやミニコンサート等、催しができるよう現在も構想中であり、歴史的風致事業を踏まえて実施していく。



今後の活用が問われている

その他の質問
○ 国民年金の金額で入居できるホームを建設できないか。

浚渫・草刈りの早期要望を

産業建設課長

県議会に要望



片岡 勝一 議員

柳瀬川の浚渫と草刈り

について、いの、越知県土木事務所に問い合わせたところ、22年度も行うとのことであった。21年度に終了した八重栗の固定堰から淀川合流点までを要望したが、地点を指定して、早急に要望書を出してほしいとの話であった。町の考えは。

渡辺産業建設課長 22年度も県の関係機関に要望している。5月8日に県議会の現地調査において、黒岩地区の柳瀬川浚渫工



浚渫・草刈りが待たれる庄田橋下流

フスボリ地区に生活用水を

産業建設課長

現地調査行う

四ツ白・フスボリ地区は、毎年、湧水期には入浴のために、いの、吾北へと出かける。飲料水は他の集落からポリ容器に入れて車で運んできている。水は大切な生活用水である。何らかの方法を検討できないものか。

渡辺産業建設課長 地元の方に会い、具体的に話を聞いた。12戸中5戸は11月から2月まで水がなく、質問どおりの状況と聞いている。12戸の水源について現地調査を行い、財源等も含めて、いかなる方法がよいか具体的に検討していく。



生活用水確保に苦労しているフスボリ地区

高齢者施策

交通手段の具体的検討を

健康福祉課長 適切な方法を検討したい

四ツ白全域の高齢者の方は交通手段がなく、買い物や年金の引き出しにも誰かに便乗するしかない。月2回程度の定期パスの運行やタクシー券の発行など、具体的に検討すべきだ。

下川健康福祉課長 佐川町の高齢化率が昨年31・5%から今年31・9%と0・4%増加。条件の悪いこの指摘の地区はますます高齢化が進んでいる。

高齢者のタクシー券は、障害者が利用する際に料金の一部を助成する制度であるために、そのまま活用することは難しい。今後、高齢者、地域の方々、関係事業者、有識者の意見を聞き適切な方法を検討したい。

その他の質問

○ 松崎橋の北方向の桜の並木の歩道を整備すべきだ。



松本 正人 議員

議案説明会において高北病院耐震化建て替えについて説明があった。総額23億円、国と県の補助金が6億円で病院の企業債が17億円、毎年の償還金額が8,800万円で、内4400万円を病院が負担するものだ。

高北病院耐震化事業

町民に説明を

町長 早急に検討

耐震化は必要だが、本来に財政的に大丈夫なのかなど、議会としては性急には判断しがたいということになり、本議会で提案は取り下げられた。しかし、是非についての判断は、有為がなく1カ月前後には何らかの結論を出さなければならぬ。

執行部で町民にも十分な説明をし、意見を聞くべきだ。

榎並谷町長 高北病院の耐震化建て替えは大きなことだ。単なる箱物というのではなく、地域住民の生命、健康を守る拠点でもあるので、行政としては守っていく必要がある。短期間に町民の方に説明をすることを早急に検討したい。

ソニア存続問題

借金の返済アンバランスだ

町長 言われても仕方がない

ソニアの問題は町民には非常に中身がわかりにくい問題だ。わかっているのは、10数億の出資金がなくなったことと借金があるということだ。公庫やJAの借金は、議会に相談することなく経営陣が勝手にしたものだ。が、しっかりと返済されている。しかし、本町への固定資産税についてはわずかしが返済してあらず、アンバランスだ。



多くの意見が出された住民説明会

これまで、3町の意見はまとまっていない。道理がないからだ。本当に税金から資金を投入したいのなら、町民にわかりやすく説明し、納得を得るべきだ。

榎並谷町長 アンバランスと言われても仕方がない。3カ町村による合意

に基づいてどうするかということだから、本町だけでというふうには難しい。当然、役員の一人として経営責任はありと思うが、社会情勢の変化等あり、ここまで来た。方向性が見えてないのは指摘のとおりだ。

抜本的検討、どうなった

町長 条例を変えるには至らない

3月議会で通学路の防犯灯設置の要望について質問した。町長は抜本的な検討をすると答弁したが、どうなったか。

榎並谷町長 防犯等設置についての新たな条例を検討すると答弁した。条例を変えて町内全域を全部みると膨大な費用がかかる。現段階では、制度を変えて町で見るということには至らない。

- その他の質問
- 斗賀野小学校体育館改修工事の時期と工法は
- 霧生関公園の進捗状況は
- 旧佐川中学校体育館の今後の活用は
- 産業高度化技術開発センター事業について

公的施設の耐震化

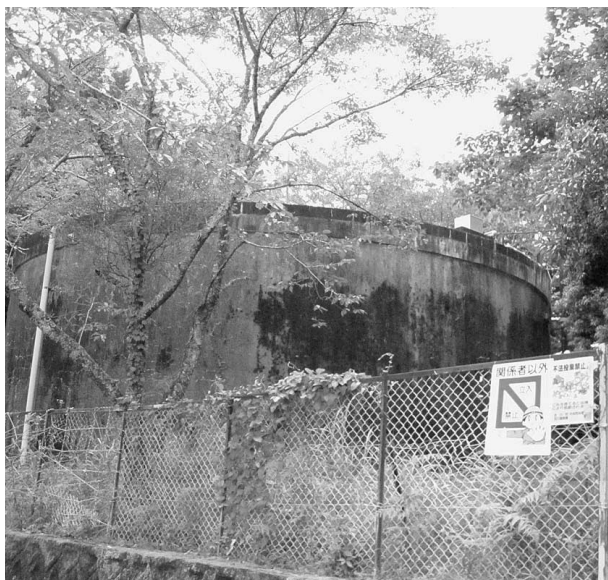
学校耐震化、前倒しできないか

教育長 財政面から困難

坂本 貞雄 議員



大地震の時のライフラインの確保のひとつとして上水道主要配水池の耐震性は保たれているか。また、学校耐震化を今一步前倒しできないか。



耐震診断が済んでいる中組配水池

渡辺産業建設課長 平成20年度に策定した佐川町水道事業基本計画に基づき、中組配水池、猿丸配水池、主要管路の計画的な耐震化を実施する。
川井教育長 学校耐震化は3年サイクルで実施中で財政面から前倒しは困難である。

最終文書、どう評価する

核不拡散再検討会議

町長 日本国民の思い

核不拡散再検討会議がニューヨークで開かれ、核兵器のない世界を目指す要請行動に参加した。5月30日付の高知新聞は「NPT会議核廃絶へ最終文書採択」と報じた。この最終文書をどう評価するか。

榎並谷町長 アメリカの大統領が核廃絶を唱えたことは世界にとって大きな一歩かなと思う。NPTの最終文書採択は、日本国民の思いを届けた結果であり、個人的には、戦争のない世界を目指すべきが、人としての気持ちだと思っている。

健康づくり

「龍馬脱藩の道ウォーキング」実施しては

健康福祉課長 関係課と検討し進めたい

最近、さまざまな行事と結び付けて健康づくりをやるうとの取り組みがはやっていて。今年は龍馬ブームであり、朽木峠は龍馬脱藩の道である。この史実を生かして、今年の健康づくりウォーキングは「龍馬脱藩の道ウォーキング」として実施してはどうか。

下川健康福祉課長 運動をきっかけとした健康づくりを進めるため、「ウォーキングで健康の輪を広げよう事業」に取り組んでいる。町内5地区で具体化し定着を図りたい。龍馬脱藩の道ウォーキングは今後関係課とともに検討し、進めていきたいと思う。



龍馬脱藩に思いをはせて

移行を進めるのであれば その段階に入るべき

教育長 考える会の結論を待つ

川井教育長にかわったことを機に、改めて尾川小中一貫校の問題について聞きたい。一回目の質問から足掛け5年になり、幾度か質問してきた。今回、PTAを中心としたアンケートの結果、大多数が中学校を残したいとのことだ。

これまでの経過から教育一貫校への移行を進めていくのであれば、既にその段階に入らなくてはならないのではないか。

川井教育長 尾川小中PTAの代表者より尾川中学校の今後を考える会の要望書が提出されている。現在、同会との協議はできていないが、7月上旬に、教育委員による学校訪問を計画している。

これを契機として同会との協議を重ねていきたい。提出されている要望書に10月末をめどに方向を決めたいとある。考える会の結論を待つて教育委員会として早期に方針を決定したい。



岡村 統正 議員



結論が待たれる尾川小・中学校

高速情報通信

運用開始は

総務課長 3月完成目指す

佐川町地域情報通信基盤整備事業が、担当課の努力により整備ができることとなり関係者各位は大変喜んでいいる。

この工事は一般競争入札で一社のみであったと聞くがその経過と状況を聞きたい。工事が滞ることのないように進めるには担当職員にかかっている。その推進体制はどのようなに考えているのか。

また、設備運用開始はいつごろを目標にしているのか。



尾川地区と共にインターネット高速化が進む黒岩地区

岡林総務課長 一般競争入札公告に対し、申請は県内の業者一社であった。建設工事入札心得により随意契約とした。

工事推進体制は危機管理対策室で取り組んでいたが、今回、企画財政係に変更し担当者2名をあたっている。本契約をした後、地元への説明会、現地調査、鉄塔設置の用地交渉等を行っていかねればならない。地元の方の協力をいただき、来年3月の事業完成を目指し進めていく。

その他の質問
○旧佐川中の体育館は取り壊すべきだ。

窓口を一本化すべき

町長 企画財政係に一本化



中村 卓司 議員

高知ファイティングドッグスのホームタウンとして、行政の窓口が越知町は一本化されている。本町は誰が窓口になっているかわからない。窓口を一本化し、球団に対しスムーズにサービスできるようにしないか。

榎並谷町長 窓口を企画財政係に一本化し、横断的に全部がつながる状況を構築するよう指示している。



がんばれ わが町のファイティングドッグス

柳瀬川改修

国の窓口へ陳情すべき

町長 国の動向を注視しながら対応

地域活性化

道の駅検討会立ち上げよ

町長 私から働きかける

黒岩地区の水害については、地元住民が越知の方とも連携しながら、運動し始めた。署名運動をし、国に陳情をしたという経過もある。国の窓口へ直接陳情に行くべきだ。具体的に災害対策にどう取り組むのか。

榎並谷町長 国の動向を十分注視しながら対応していく必要がある。私たちの役目は、地元の声をいかに国政に届け、目的を達成するのであり、できるだけの努力をする。窓口へも陳情に行く。

道の駅について、前々議会で私の質問に対して前向きに考えると答弁があった。その具体策として、商工会、JA、農業改良普及所等、関係機関で研究会、検討委員会を立ち上げてはどうか。

榎並谷町長 道の駅は地域の活性化につながる。商工会、JA、農業改良普及所に行政との検討会を立ち上げるよう、私の方から働きかける。

その他の質問
○ 高北病院耐震は早急に取り組むべきか
○ ソニア問題、今後どう取り組むか



地場産品販売が地域活性化につながる

常任委員会レポート

総務文教常任委員会

調査日 4月30日

町有林の現地調査を実施

委員長 徳弘 初男

加茂、弘岡山は

ツツジ公園としては

4月30日、所管事務調査として佐川町弘岡、西山、越知町宮地、仁淀川町名野川の町有林の現地調査を行った。

弘岡の町有林は、総面積27・8haあり、ほとんどが雑木林だ、清宝山山頂付近は、地域住民の方が一部を桜とツツジの公園にしており、周辺にはツツジの群生も見られる。雑木を伐採しツツジ公園としてはどうかと思われる。

間伐等の手入れで

良質の木材に

西山町有林は近年手入れされた形跡がなく間伐等の手入れが必要だ。

カラ谷崩落箇所の

砂防工事進む

名野川の町有林は分収契約を行っている。仁淀川森林組合の職員に説明を受け、順調に生育していることが確認できた。

大規模崩落箇所は砂防堰堤が2カ所施工されており、本年度に1カ所施工されとのことだ。



産業厚生常任委員会

調査日 5月20日

上郷の郷・郷サロンを訪問

委員長 今橋 寿子

多少の不足額は

基金で対応する

5月20日、高齢者福祉計画、第4期介護保険事業計画（平成21年度～23年度）の概要や利用サービスの種類と利用料について詳細な説明を受けた。

第4期介護保険事業計画の収支は、多少の不足額が生じた場合は基金で対応する計画になっている。

現在は不足額は生じていない。

平成11年より

ふれあいサロン

介護保険事業のひとつの地域支援事業の中の、介護予防事業でのふれあいサロン（17カ所）いきいき百歳体操（34カ所）の活動報告を受けた。

ふれあいサロンは平成11年から社会福祉協議会に委託しており、介護予防、生きがい、仲間づくり、特に閉じこもり、認知症の予防として開催されている。



手料理の食事会

などで一日楽しく

今回は上郷の郷・郷サロンを訪問した。運営は地域全体で取り組んでいる。百歳体操や手料理による昼食会など楽しい一日を過ごしていた。

委員も昼食を一緒にとりながら、町政全般について、ひびを交えての意見交換は有意義であった。



就農支援組織 SOEL—有機農業で、安心な野菜づくり—

— 川の外科医で有名な
福岡脩文氏のもとで仕事
をしていたことですが、
そこで学んだことは。

— 実家の農業を継ぐこ
とになったのはどうい
つたことからですか。

— 今、特に力をいれて
いることはどんなこと
ですか。

内と県外から2名の研修
生を受け入れています。

— 有機農業は栽培が難
しいと聞きますが。

有機農業の先駆者、小
祝氏が4冊のテキストを
出しており、それを基に
理論と実践で技術を身に
つけていきます。

— 今後も環境保全型農
業の先駆けとして理論、
実践研究を続けていつて
下さい。ご期待いたしま
す。

わがまち「人」
では、この佐川の
まちで元気に活躍
されている方にス
ポットをあて紹介
します。
今回は、環境保
全型農業・有機農
業の確立を目指し
ている、田村雄一
さんにお話を伺い
ました。

大学を卒業後、先生の
もとで地域計画コンサル
タント担当としてヨーロ
ッパ、中でも環境に厳し
いスイスの農業を研究し、
当時まだめづらしかった
環境保全型農業の計画を
立案したり、自然と共生
する農業を学びました。

コンサルタントで計画
を立てて、実現するには、
地域に入り実践をしながら
目指したものを実現し
ていかなければと思っ
たことから継ぐことになり
ました。

行政の支援を得て、S
OELという研修組織を
3戸の農家で立ち上げま
した。有機農業を目指す
若者が1年ないし2年の
期限で研修し自立を支援
する組織です。現在、町

自然に優しい明日の農業を



田村 雄一 さん



情熱が農業の未来を開く

— 有機野菜は販売する
ことが難しいと聞きます
が、流通計画と、どうい
った作物の栽培を考えて
いますか。

有機農産物宅配大手を
通じて、「研修生の作った
野菜セット」として販売
するつもりですので、作
る作物の種類は多品目と
なります。

— 最後に今後に向けて
一言お聞かせ下さい。

栽培時に重油を大量に

消費する農産物に消費者
から疑問の声があがって
いる。

これに代わる木質バイ
オマスや薪炭を活用する
ことで林業の活性化につ
ながるとともに、農家と
の関係もできる。さらに
里山の保全にもつながる
と考えています。

あなたの周りの人知れ
ず「佐川のまち」の元氣
のために活躍されている
「人」をぜひ、ご紹介して
下さい。
ご連絡は議会事務局まで。

SOELとは
S さかわ 佐川町
O オーガニック 有機
E エコロジー 生態
L ラボラトリー
手を添える

♡佐川に恋して♡

佐川町へのラブレター

■佐川町のどんなところが好きですか。

桜がきれいなところ
です。

■仕事は楽しいですか。

お客様に喜んでいただ
いた時、自分が担当でき
て、良かったなと嬉しく
なります。大変なところ
もありますが、やりがい
があります。

■趣味はなんですか。

手芸をしたり買い物に
行くことです。

■どんなタイプの男性
が好きですか。

一緒にいて楽しい人で
すね。

優しい笑顔が素敵な瞳
さんでした。これからも
がんばってください。



かわぞえ ひとみ 瞳 さん
携帯ショップ店員 (本郷耕)

緑のふるさと協力隊

あら い たかのり
新井 孝徳 さん



本町全域で
地域づくりのお手伝い

高知の方が蒸し暑いように
感じています。そんな気象
が気性に影響し、「いごっ
そう」と「はちきん」を生
みだす一因になったのでは
ないかと町の図書館で知り
ました。土佐弁は、いまだ
に聞き取れない事がありま
すが、無意識に出てくる言
葉も増えてきました。

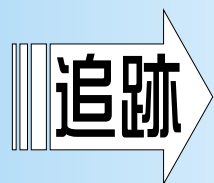
隊員としての仕事は。

酪農やニラ、梨、お茶な
どの仕事を体験・お手伝し
ています。今後は、お祭り
やファイティングドッグス
のイベントなど、いろいろ
なお手伝いをやってみたい
と思っています。

その中で感じた事や抱負を
教えて下さい。

農業の良さだけでなく、
生計を立てていく大変さ
を感じています。しかし、
「21世紀は江戸時代」とい
う言葉を聞いた事がありま
す。農に基盤がある佐川の、
人の元気や町の発展に一役
買えたらうれしいです。

群馬との違いはどんなところ
ですか。
言葉と気性と気象でしょ
うか。群馬も暑い所ですが、



あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.14



生活用水確保ができた西山地区 他の地区も整備を

水道未整備地区への対応を

(平成21年9月定例会)

水に困っている住民の方から、悲鳴の
声が上がっている。公平性の面からも、
できるだけの対策をとるべきだ。水道
の未整備地区への対応は。

(今橋寿子 議員)

産業建設課長 答 弁

飲料水供給施設を設置

辺地対策事業として、尾川西山地区
に、飲料水供給施設を設置すること
になった。6月定例会で予算が可決
され、22年度中に完成の予定。

どう
なった

色々な方策を検討

飲料水供給施設が、できるかどうかと
いった色々な方策を検討し、要望のあ
った地域の方々と一緒に協議した上で
取り組んでいくことが大事なことだと
感じている。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月7日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面と心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡村 純正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

3月末のこと、暖冬と思っていたら遅霜が何度も降りる。懸命の対応をしてもむなしく、果樹、野菜等大変な被害にあった。少ない作物が、やっと収穫できると思いきや、一晚のうちに動物たちが大挙してやってきて作物がなくなる。動物たちは家族を守り、子どもたちを育てるために恐ろしい人間のいる所へ命がけで出没してくる。空から作物を狙うカラス、米・芋を狙うイノシシ、最も手ごわいのは、役場上流の春日川わきの電柱の上に現れた猿だ。

動物愛護も大切だが、かわいそうだからと追い払うだけでは解決とはならない。どこかで被害が出る。簡単に殺処分等せずに、人間にはない知恵と感覚を備えた動物たちと共存する方法はないものかと、頭を悩ましていたきょうこのごろだ。

片岡

編集後記